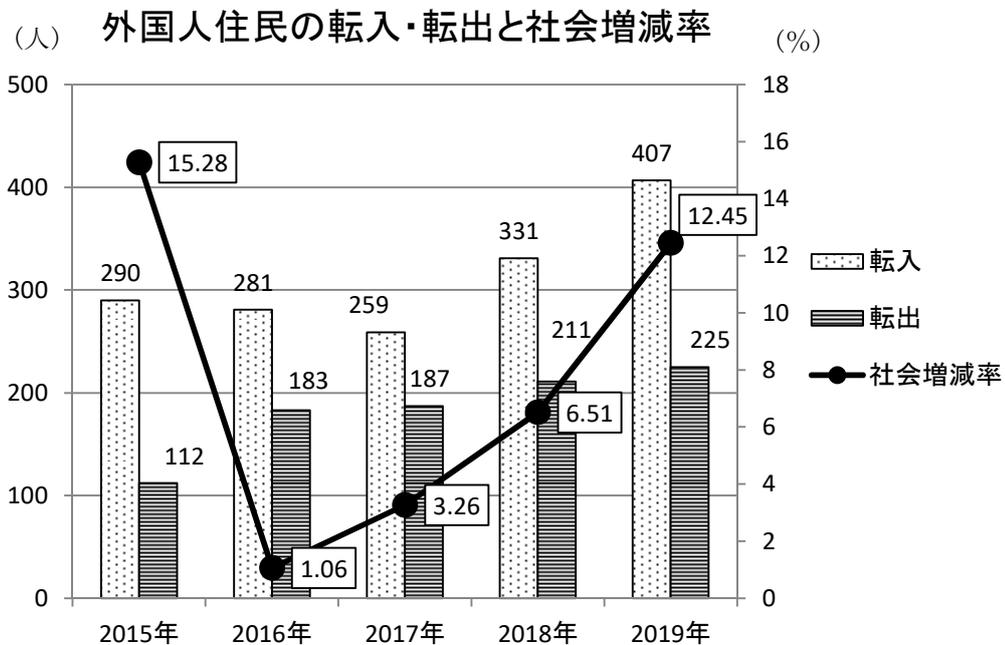
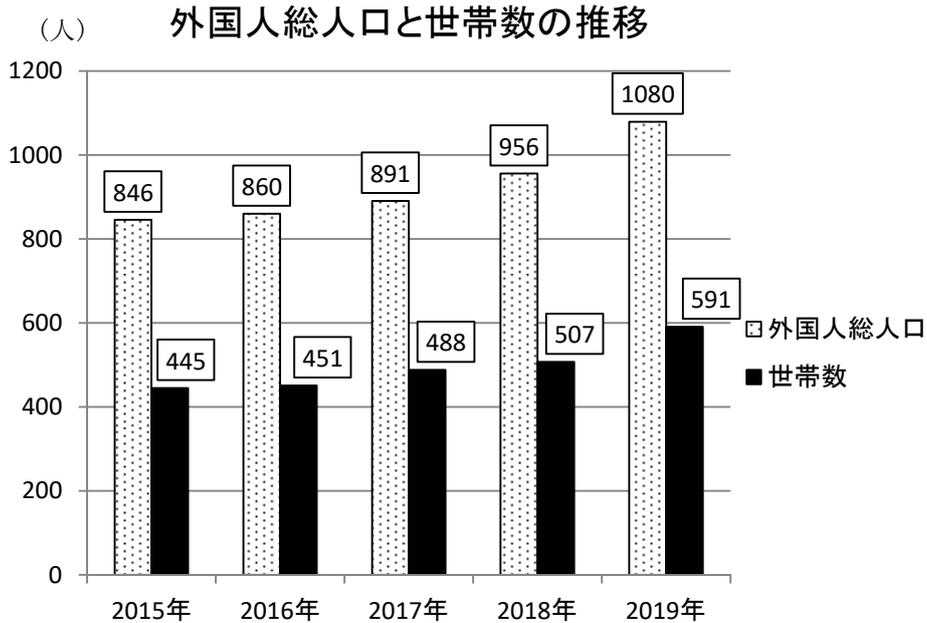


長久手市の外国人住民数・人口動態の現状について

1 外国人住民の人口動態

外国人住民の世帯数は、外国人住民数の増加とともに毎年増加しています。

転入者数は2017年まで減少していましたが、2018年からは年々増加しています。また、社会増減率も2016年から毎年増加しています。



住民基本台帳より作成 (各年1月1日現在)

(注意：各ページのグラフや表の数値はそれぞれ基準日が異なるため、数値に若干差異があります。)

2 国籍別の外国人住民数

長久手市の外国人住民数は、2016年以降毎年増加しており、全体の人数はこの4年間で318人増加しています。

国籍別では中国、フィリピン、ベトナム、ネパールの増加が顕著になっています。

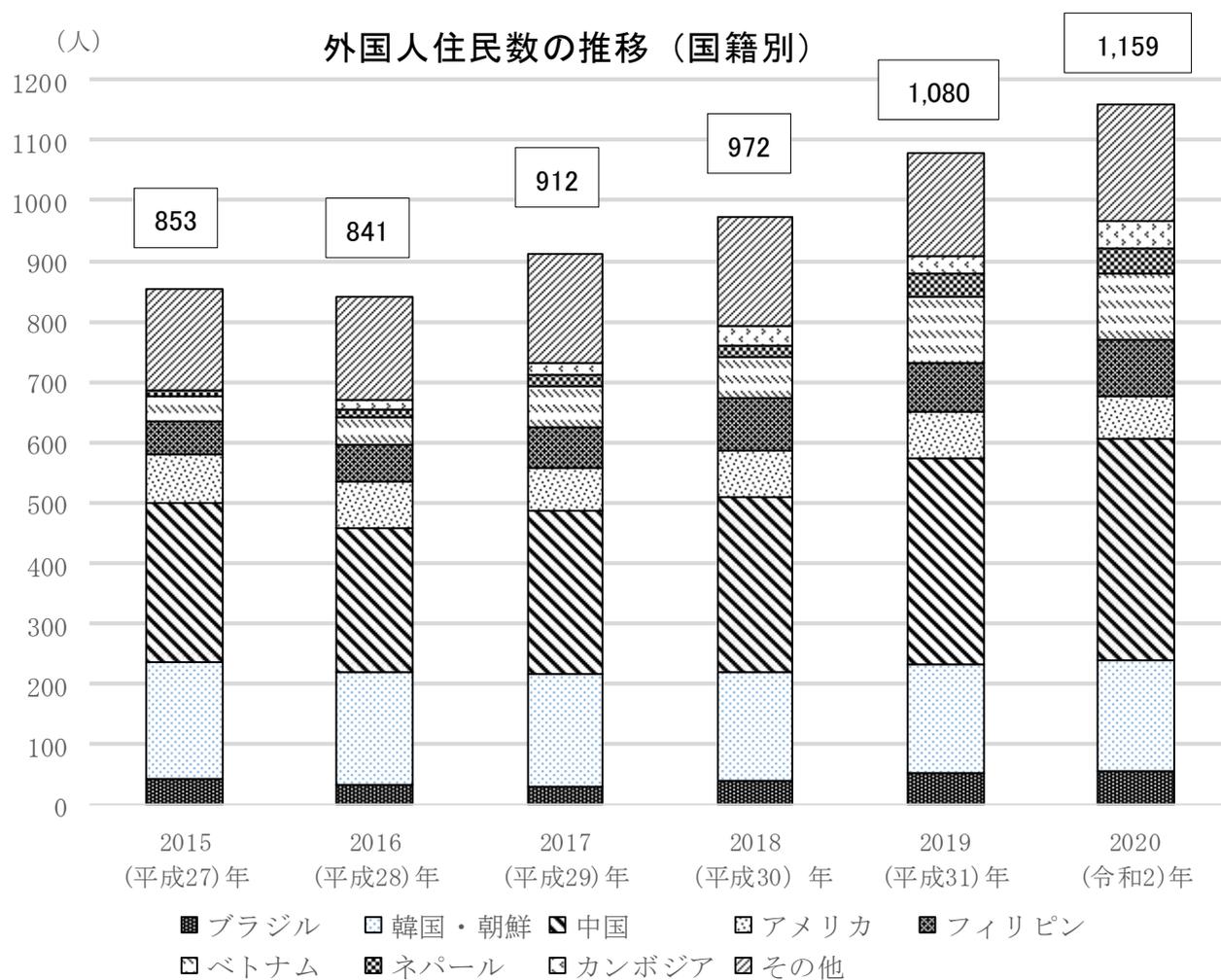


表1 外国人住民数国籍別内訳

(人)

	ブラジル	韓国・朝鮮	中国	アメリカ	フィリピン	ベトナム	ネパール	カンボジア	その他	合計
2015 (平成27)年	42	193	266	79	54	43	8	0	168	853
2016 (平成28)年	35	184	240	75	62	46	13	14	172	841
2017 (平成29)年	31	186	271	71	67	67	18	21	180	912
2018 (平成30)年	39	180	292	77	87	66	20	30	181	972
2019 (平成31)年	53	179	342	76	82	109	38	28	173	1080
2020 (令和2)年	57	183	366	72	91	109	44	45	192	1159
2015年から2020年までの増減数	15	△10	100	△7	37	66	36	45	24	306

(各年4月1日現在)

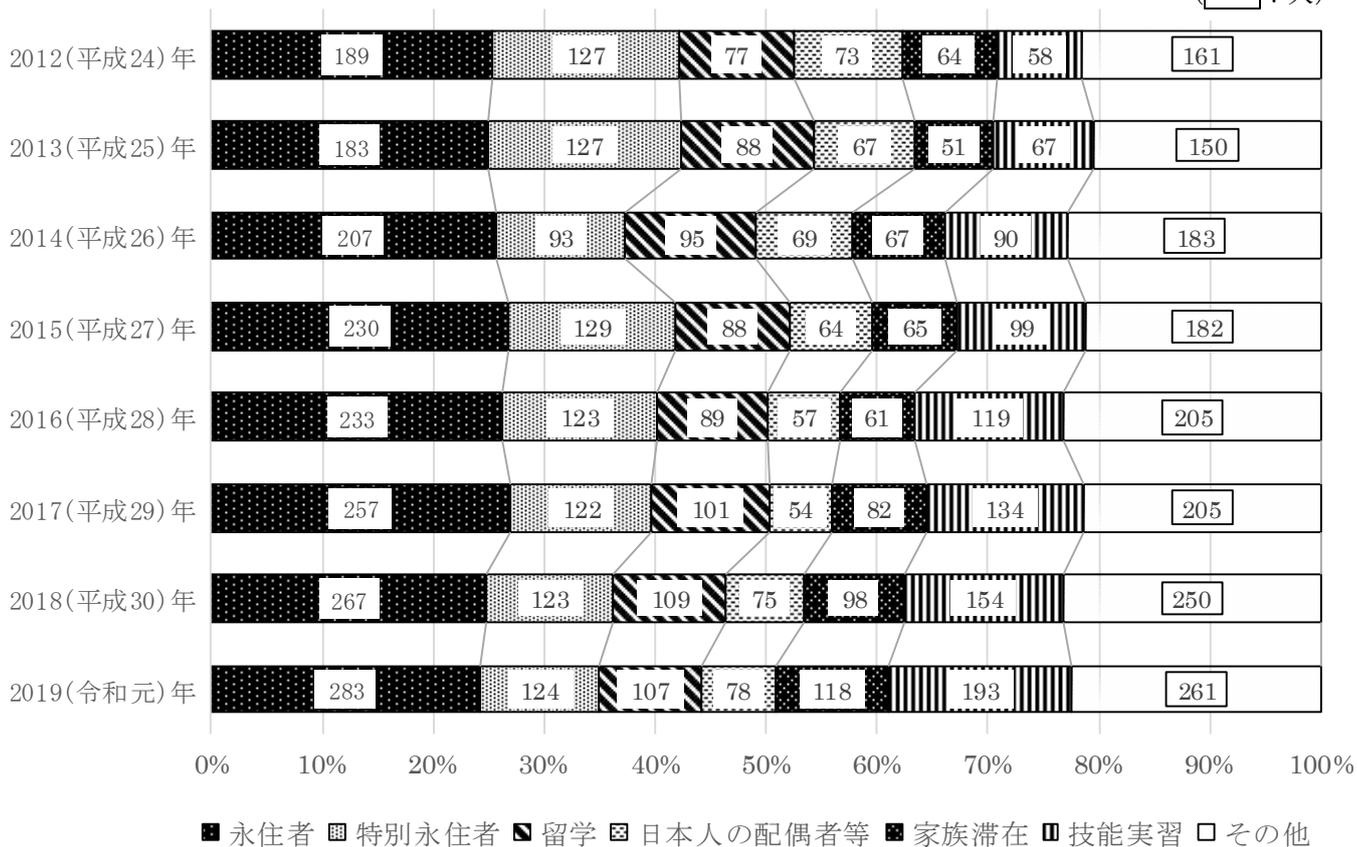
3 在留資格別の外国人住民数

在留資格別の外国人住民数をみると、技能実習と家族滞在の割合が多くなっています。人数で見ると、技能実習は、ここ7年で3倍以上増えています。

また、永住者については全体から見る割合はほぼ変わりませんが、人数としては約100人増加しています。

外国人住民数の推移（在留資格別）

(□ : 人)



(各年12月31日現在)

4 外国人児童生徒数

長久手市の外国人児童生徒数は、2018年度までは緩やかに増加しています。2019年度は減少しましたが、2020年度は小学生の外国人児童数が増えたことにより、再び増加に転じています。

また、日本語指導が必要な児童生徒数は10人以下にとどまっていますが、児童生徒数全体に占める割合は、2018年度から1割以上となっています。

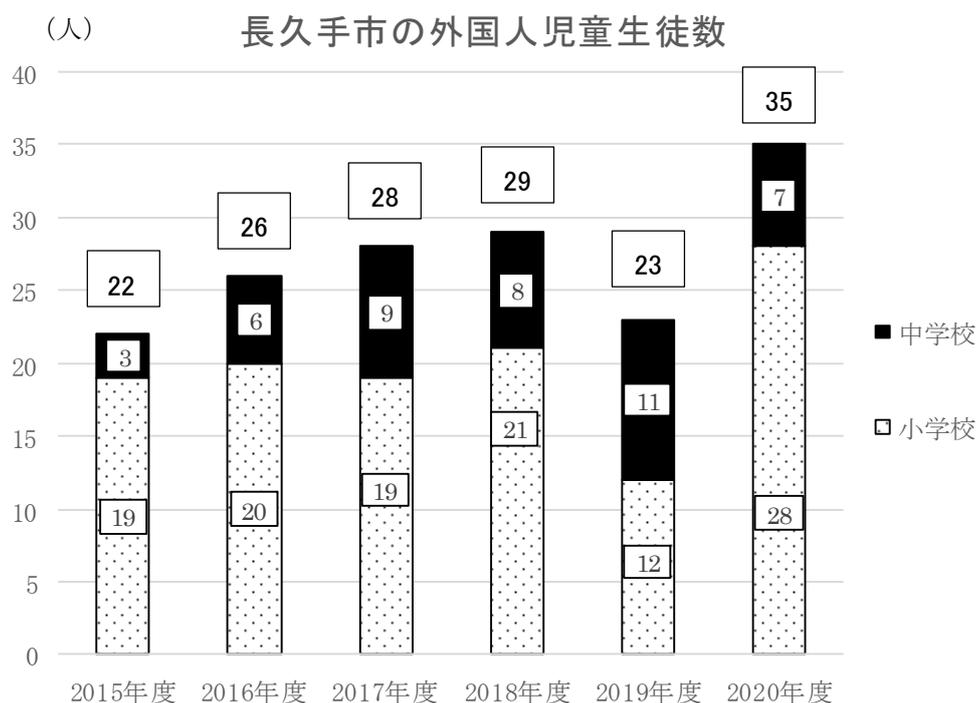


表2 日本語指導が必要な児童生徒数

年度	2014年度	2016年度	2018年度	2020年度
児童生徒数	1人	2人	7人	5人
全体に占める割合	7.6%	7.6%	24.1%	14.2%

学校基本調査および教育委員会データより作成（各年5月1日現在）